



【第287号 紙面案内】

第2～3面……全国研究大会プログラム / 第4～8面……各部会・委員会などからの諸連絡

## 日本型経営と現代経営者

日本マネジメント学会常任理事 小椋 康宏 (東洋大学)

日本列島を震撼させた2011年3月11日の東日本大地震から、3年を経過することになりました。この震災以来、同時に起こった原発事故は、従来 of 日本社会のあり方を問うことになり、日本社会を取り巻く環境は激変してきたといえます。このような状況のなかで、日本企業は、経営のグローバル化とともに、新たなパラダイムとして日本型経営を構築し、経営実践していくことが求められているといえます。日本マネジメント学会のアイデンティティの一つである日本型マネジメントへの探求は、この日本型経営の経営実践の積み重ねの中にあると考えます。

さて、われわれは東洋大学経営力創成研究センターにおいて、日本マネジメント学会所属の研究者の協力を得て、日本型経営の経営実践研究としての経営者論と管理者論が重要であると考え、研究を進めてきました。そこでの研究成果として、特に、私が主張してきたことは、経営者論としては、経営者のビジョンの設定が重要であり、日本人の経営者が経営ビジョンを強く意識し行動に移すことによって経営者による日本型経営の経営実践原理の構築が可能となるということです。もう一つは、経営者がステークホルダーとの対境関係としてCSRの経営実践を展開することにより、日本型の経営実践論を発信することが可能となります。経営者の経営実践においては、各企業体によって、ステークホルダーの要求に対する優先順位が異なることが生じるでしょう。これらは、日本企業の経営者に対する長年にわたるシンポジウムやインタビュー調査から明らかにされつつあります。

次に管理者教育においては、日本企業が第2次世界大戦後、企業内教育として行ってきた経営教育を21世紀の企業体のなかで、新しいOJTである管理者育成プログラムが求められているということでもあります。またこの管理者育成プログラムを経営者育成プログラムの基礎的要件としての位置を明確にしておくことが重要であると考えます。いずれにしても、これらの問題解決のためには、実・学一体を標榜する本学会の責務があるといわなければなりません。

日本型経営の経営実践原理は、経営者と管理者が一体として経営行動することが日本流の経営実践の基礎であると考えており、そこに日本型経営原理の構築の意義があるといえます。

最後に、私が研究部会長を務めるマネジメント実践研究会での研究会は、活発に続けております。是非、現代におけるマネジメント研究を志す会員の皆様の積極的参加と研究報告をお願いし、挨拶といたします。

## 日本マネジメント学会第69回全国研究大会プログラム

### 統一論題 「日本の新しい成長産業とマネジメント革新」

会場：文京学院大学 本郷キャンパス

#### 第1日 2014年5月30日(金)

14:00～16:00 企業見学 JPタワー（丸の内・東京中央郵便局再開発）  
17:30～ 理事会（文京学院大学 本郷キャンパス B館8階会議室B811）

#### 第2日 5月31日(土)

9:00～ 受付（仁愛ホール入口）  
9:30 会長挨拶 日本マネジメント学会会長 加藤茂夫  
開会挨拶 第69回全国研究大会実行委員会委員長 櫻澤 仁

9:40～15:30 統一論題セッション（報告：各40分 討論70分 計150分）（仁愛ホール）

9:40～12:10	<b>統一論題セッション1【日本の成長戦略と成長産業】</b>
報告者(1)	小野瀬 拓（九州産業大学）
報告テーマ(1)	ベンチャー支援オフィスネットワークの構築
報告者(2)	當間 政義（和光大学）
報告テーマ(2)	植物工場ビジネスの戦略的背景と経営課題
コメンテーター	佐々木 利廣（京都産業大学）
司会者	柿崎 洋一（東洋大学）

12:10～13:00 休憩（B's ダイニング2階）

13:00～15:30	<b>統一論題セッション2【日本の成長戦略とニュービジネス】</b>
報告者(1)	山口 洋（株式会社JPホールディングス 代表取締役）
報告テーマ(1)	産業社会の構造改革と保育事業
報告者(2)	高橋 ゆき（株式会社ベアーズ 専務取締役）
報告テーマ(2)	ニュービジネスとしての家事代行業
コメンテーター	加藤 茂夫（専修大学）
司会者	櫻澤 仁（文京学院大学）

15:40～16:10 会員総会（仁愛ホール）

16:20～17:30 特別講演（報告：70分）（仁愛ホール）

16:20～17:30	<b>特別講演</b>
講演者	高橋 亨（日本郵便株式会社 代表取締役）
報告テーマ	日本郵政グループの経営革新
司会者	小椋 康宏（東洋大学）

17:40～ 懇親会（B's ダイニング ※B館1階）

第3日 6月1日(日)

9:00

受付

9:30 ~ 12:00

統一論題セッション(報告:各40分 討論70分 計150分)(ウィングホール※B館8階B812教室)

9:30 ~ 12:00	<b>統一論題セッション3【日本の成長産業と戦略課題】</b>	
報告者(1)	安田賢憲(創価大学)	
報告テーマ(1)	産業のソフト化がもたらす業界構造の変質に関する考察—自動車産業を例に—	
報告者(2)	公野 勉(文京学院大学)	
報告テーマ(2)	コンテンツ産業の経営戦略とマネジメント革新 —製造業におけるキャラクター領域を中心として—	
コメンテーター	中村公一(駒澤大学)	
司会者	櫻井克彦(東海学園大学)	

12:00 ~ 13:00 休憩(B's ダイニング)

12:00 ~ 13:00 大会委員会(B611)※第70回全国研究大会

12:30 ~ 14:20 産学連携動向に関するポスター展示とプレゼンテーション(811会議室)

12:30 ~ 14:20	<b>ポスターセッション</b>				
報告者	下境芳典 (元理化学研究所)	間間 理 (九州産業大学)	伊藤久美子 (東京工業大学大学院)	松村洋平 (立正大学)	櫻澤 仁 (文京学院大学)
報告テーマ	独立行政法人理化学 研究所の産学連携	九産大経営学部事 業開発コースの 『farm3.0』	キャリア支援としての 産学協働マーケティング プロジェクト—企業 との取り組み事例 からの課題と提案—	東京中小企業家同友 会とのコラボレーシ ョン—経営総合特論 の取り組みを中心—	コンテンツ領域と起 業家教育領域等の諸 側面の産学連携の事 例紹介
司会者	大平義隆(北海学園大学)				

13:00 ~ 15:10 自由論題報告・国際セッション(各報告 報告:25分 コメントおよび質疑:15分 計40分)

13:00 ~ 13:40	<b>A会場(ウィングホール) (自由論題)</b>	<b>B会場(713教室) (自由論題)</b>	<b>C会場(714教室) (自由論題)</b>	<b>D会場(613教室) (国際セッション)</b>
報告者	水野清文(奈良学園大学)	道谷里英(文京学院大学)	竹内伸一(広島大学大学院)	Sang Chul Jung (Incheon National University)
報告テーマ	中小企業の地域戦略—奈良県 の食品企業の事例をもとに—	組織内メンタルヘルス対策と しての同僚による支援のあり 方—民間企業と公的組織にお ける導入事例の比較から—	経営教育は他領域の専門職 教育にいかん貢献し得るか —ケースメソッド教育の文 脈で—	A Study on the Strategic Management of Samsung Electronics through the Generic Value Chain Model
コメンテーター	榎田智子(福山市立大学)	細萱伸子(上智大学)	辻村宏和(中部大学)	
司会者	藤木善夫(東海学園大学)	早川淑人(札幌学院大学)	渡邊昭王(YOU-MORE 経営)	中村久人(東洋大学)
13:45 ~ 14:25	<b>(自由論題)</b>	<b>(自由論題)</b>	<b>(自由論題)</b>	<b>(自由論題)</b>
報告者	児玉敏一(札幌学院大学)	加藤 巖(和光大学)	世良和美(広島大学大学院)	堀野亘求(京都産業大学大学院)
報告テーマ	公立動物園のイノベーション・プロセス	高齢者雇用の促進に関する 実証的研究	起業の社会戦略へのリス ク・マネジメントの援用	中間支援組織の発展にお ける組織間評価の現状と課題
コメンテーター	大野和巳(文京学院大学)	佐藤一義(立正大学)	松本 潔(産能短期大学)	手塚公登(成城大学)
司会者	新川 本(長崎県立大学)	杉山三七男(静岡産業大学)	鈴木岩行(和光大学)	間嶋 崇(専修大学)
14:30 ~ 15:10	<b>(自由論題)</b>	<b>(自由論題)</b>	<b>(自由論題)</b>	
報告者	戸前壽夫(岡山大学)	中原康征(東海大学)	仁平晶文(東京経営短期大学)	
報告テーマ	地方立地のオンリーワン型 企業の競争力の源泉	中小企業におけるIT投資 決定と経営者の職能	伝統と革新をつなぐオー プンな徒弟制度—古典芸能 の世界における人材育成制 度を題材にして—	
コメンテーター	松村洋平(立正大学)	青淵正幸(立教大学)	中村秋生(千葉商科大学)	
司会者	樋口弘夫(和光大学)	村井淳(東京急行電鉄)	萩原道雄(萩原経営研究所)	

15:10

閉会挨拶 日本マネジメント学会組織委員会委員長 辻村宏和(ウィングホール)

**常任理事会報告**

日 時 平成 26 年 3 月 15 日 (土)

場 所 山城経営研究所 会議室

議 題

(1) 第 69 回全国研究大会について

第 69 回全国研究大会（文京学院大学：平成 26 年 5 月 30 日～6 月 1 日）の準備状況が報告された。

(2) 今年度活動経過報告と次年度活動計画概要について

各委員会、各部会の活動報告がされた。特に、国際委員会からは、韓国経営教育学会への派遣助成金を 3 万円から 5 万円に増額を検討しているという報告があった。山城賞委員会からは、機関誌に掲載された 35 歳以下の投稿者の論文を自動的に審査対象にすることを検討しているということが報告された。

(3) 会員入退会の件

入会（個人 14 名）、退会（個人 16 名）が承認され、合計（個人 693 名、法人 5 社）となったことが報告された（平成 26 年 3 月 15 日現在）。

(4) その他

第 70 回全国研究大会は、静岡産業大学にて開催されることが決定した（日程については、変更予定である）。なお、第 71 回大会は、専修大学で開催予定である。

**◇◇関東部会開催のご案内◇◇**

開催校担当教員 松本 芳男（日本大学）

●日 時：平成 26 年 7 月 19 日 (土) 14:00～17:30

●場 所：日本大学商学部 3 号館 3 階大会議室

●報告プログラム（※報告：40 分、コメント・質疑 20 分）

第 1 報告：14:00～15:00

報告者：豊田 祐輔（成城大学）

テーマ：「持続的競争優位と組織学習－コア競争力構築・更新の視点から－」

コメンテーター：山崎 秀雄（武蔵大学）

司 会：シュレスタ ブパール マン（千葉商科大学）

< 10 分休憩 >

第 2 報告：15:10～16:10

報告者：今井 正彦（山城経営研究所）

テーマ：「企業の採用方法の変化に対応した大学における人材育成について」

コメンテーター：内田 賢（東京学芸大学）

司会：仁平 晶文（東京経営短期大学）

< 20 分休憩：コーヒースタンド >

第3報告：16:30～17:30

報告者：柳川 高行（白鷗大学）

テーマ：「戦略的キャリアデザイン論の必要性と可能性ーメタ・キャリアデザインの重要性ー」

コメンテーター：文 載皓（常葉大学）

司会：樋口 弘夫（和光大学）

●参加費等：参加費 1,000 円、懇親会費 3,000 円

●お問い合わせ：関東部会長・手塚 公登（045-962-6181 / tezuka@seiyo.ac.jp）

## ◇◇中部部会開催のご案内◇◇

中部部会長 堀田 友三郎（東海学園大学）

中部部会では、経営行動研究学会、経営哲学学会との3学会合同で、下記のとおり第49回中部部会を開催いたします。皆様奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

●日時：平成26年6月28日（土）14:00～17:30

●場所：東海学園大学栄サテライト

●プログラム 報告（報告35分、コメント10分、質疑15分）

第1報告：14:00～15:00

報告者：大鹿 哲郎（名古屋大学大学院）

テーマ「キャリア概念と自己同一性に関する予備的考察」

司会・コメンテーター：加藤 里美（愛知工業大学）

第2報告：15:00～16:00

報告者：今井 範行（名城大学）

テーマ「トヨタ生産システムの進化の可能性に関する一考察  
ー環境と会計の視点の適用とその意義ー（仮題）」

司会・コメンテーター：蕎麦谷 茂（名古屋外国語大学）

<15分休憩>

第3報告：16:15～17:15

報告者：三宅 章介（東海学園大学）

テーマ「キャリア概念とその理解に関する調査研究ー中間報告ー」

司会・コメンテーター：辻村 宏和（中部大学）

議 事：17:15～17:30

中部部会長 堀田 友三郎（東海学園大学）

（0561-36-5555、hottat@tokaigakuen-u.ac.jp）

参加費等：参加費500円、懇親会費4,000円

●懇親会参加と出席連絡のお願い：懇親会にご参加いただける方は6月20日までに、

中部部会事務局・藤木 善夫（東海学園大学 みよし市福谷町西ノ洞 21-233 /

TEL：0561-36-5555、fujiki@tokaigakuen-u.ac.jp）までご連絡ください。

●お問い合わせ：詳細につきましては、上記藤木にお問い合わせください。

※中部部会では随時報告者を募集しております。ご希望の方も上記藤木宛お知らせください。



## ◇◇中国・九州部会報告◇◇

西釜 義勝（九州大学）

平成26年3月22日(土)13時30分より九州産業大学において、日本マネジメント学会中国・九州部会は好天にも恵まれて盛況裡に開催された。今回の部会では、研究報告3本と特別講演1本が行われ、まさに盛り沢山の内容であった。篠原淳中国・九州部会長（日本経済大学）による開会挨拶のあと、各セッションを通して活発な議論が交わされた。

第1報告は、世良和美氏（広島大学大学院）による「企業の社会戦略へのリスク・マネジメントの援用分析ツールとしての可能性の検討」であった。

社会性と経済性を企業戦略に組み込む手法を解明することを目的とされ、CSR研究におけるリスク・マネジメントの援用状況について先行研究を丹念に整理し、ポジティブ・リスクの検討の必要性を指摘した。さらに、プロジェクト・リスク・マネジメントの援用を事例分析を通して試み、リスク・マネジメントの分析ツールとしての可能性を示したものである。

第2報告は、松藤賢二郎氏（福岡工業大学）による「加齢社会における医療機関の経営課題」であった。日本における加齢社会構造の変遷、その影響を受けて生じつつある医療機関の間での経営面の格差というきわめて深刻な問題を膨大なデータを用いて多様な角度から考察することで明らかにされた。その結果、医療機関が抱える課題とそれを解決するためのマネジメントの方向性を明確に提示したものである。

第3報告は、吉岡隆彰氏（日本経済大学）による「経営教育の原点について」であり、経営教育のあり方を論じられた。実践経営学の基本原理（KAEの原理）の重要性を指摘し、経営教育における「教育」とはEducationではなく「Development」に重点が置かれるべきであると主張され、実践能力開発の学問を意味するということを力強く説かれたものである。

特別講演には、講師として経営実務の第一線で奮闘されている森恍次郎氏（株式会社如水庵 代表取締役社長）をお招きし、ご登壇いただいた。演題は「軍師官兵衛と如水庵」であり、時宜に合うテーマであった。森氏は父の「黒田如水公のように生きよ」という言葉と、如水公への深い尊敬の念から、屋号を「五十二萬石 如水庵」とした。黒田如水公の生き方（平和主義・文化主義・人間主義）に感動し、それを基調に如水庵グループの5つの経営理念を定めて原動力とし、従業員に共感を与える経営を重視されている。福岡藩の礎を築いた黒田官兵衛の生き方や組織を導く方法に学び、実践に活かすという歴史的教訓を大切にされている企業であり、その哲学に世界中の多くの企業は学ぶところがあるのではないだろうか。

以上のように、現代の経営活動に対しての多様な視点に基づく研究報告と特別講演からは豊かな示唆を得ることができた。学術面・実務面の双方にとってきわめて大きな意義があり、まさに「実・学一体の実践経営学」の進展の契機となる実りある充実した部会であった。部会終了後は、森氏にご出席いただいたの懇親会が行われ、和やかな雰囲気の中で会員間の相互交流が図られた。活発な意見交換の場となり、親睦を深めることができた。



森 恍次郎 氏

## ◇◇中国・九州部会からのお知らせ◇◇

中国・九州部会長 篠原 淳（熊本学園大学）

平成 26 年度第 1 回中国・九州部会を 8 月 23 日(土)に福岡工業大学にて開催します。つきましては会員皆様から報告者を募集します。報告を希望される方は下記までご連絡下さい。

<連絡先> 篠原 淳（熊本学園大学）(shinohara@bird.ocn.ne.jp)

※かならず、お名前、ご所属、論題をお知らせください。

## 機関誌委員会からのお知らせ

機関誌委員長 樋口 弘夫（和光大学）

機関誌への次回投稿の締め切りは、平成 26 年 8 月 30 日(土)です。なお、投稿規程、執筆要領、組見本を遵守ください。詳細は学会 HP でご確認願います。

## 正確な住所をお知らせください

機関誌、全国大会資料などの発送には宅配便を利用します。ご登録住所をご確認の上、住居表示の変更、住所変更などがありましたら、お手数ですが、速やかに学会事務局までご連絡下さい。

## 本棚～会員の新刊著書を紹介します～

- ・北居 明著『学習を促す組織文化』有斐閣 3,700円＋税
- ・東洋大学経営力創成研究センター編『日本企業の経営力創成と経営者・管理者教育』学文社 2,600円＋税

## 第70回全国研究大会・自由論題報告募集

平成26年11月14日(金)～11月16日(日)に静岡産業大学において開催される第70回全国研究大会の自由論題報告を募集します。下記要領に従ってご応募下さい。

### 1. 応募資格

本学会の会員。ただし、1年以内に報告された方の応募はご遠慮下さい。

### 2. テーマ

本学会の目的に沿う以下のもの

- ・経営体の諸活動に関する実践的経営の研究
- ・日本的経営および国際的経営の研究
- ・経営者・管理者の実践的能力を育成するための経営教育の研究

### 3. 応募書類

応募には表紙、報告要旨、参考文献の3点が必要です。

- ・表紙 (A4サイズ1枚) ……以下を必ず明記してください。

①氏名 (漢字・仮名および英語表記)

②報告テーマ

③所属 (現職および職位)

④連絡先 (自宅および所属先の電話番号・FAX番号、E-mailアドレス)

- ・報告要旨 (A4サイズ、用紙縦置き横書きで2枚以内)

要旨には問題意識、論点、結論等を必ず含めてください。

①字数は2,000字以内 (40字30行)、10.5ポイント、余白は上下左右各25mm

②報告テーマはゴシック体、要旨は明朝体

- ・参考文献 (A4サイズ1枚) ……書式は報告要旨に準じます。

参考文献は内容と密接に関係するものにとどめ、関係の薄いものは控えてください。

上記書類を下記締め切り期日必着にて電子メールまたは郵送でお送りください。

### 4. 締切

**平成26年7月31日(木) 必着**

### 5. 応募先・問い合わせ先

日本マネジメント学会事務局 (担当: 魚住 良三)

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-8-4 (株)山城経営研究所内

TEL: 03-3264-2100 FAX: 03-3234-9988 E-Mail: name@kae-yamashiro.co.jp

### 編集後記

今月末には、文京学院大学にて全国研究大会が開催されます。皆様のご参加をお待ちしております。また、静岡産業大学で行われる第70回大会が、11月14日～16日に変更になりました。お間違えのないよう、宜しくお願い致します。

中村 公一 (会報委員会委員長)、細萱 伸子 (副委員長)

発行 **日本マネジメント学会**  
(旧称: 日本経営教育学会)

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-8-4  
株式会社山城経営研究所 (担当: 魚住)  
TEL 03-3264-2100 FAX 03-3234-9988  
E-mail: name@kae-yamashiro.co.jp  
URL: <http://www.nippon-management.jp/>

印刷 (株)ドットケイズ TEL 03-5206-1626  
E-mail: win@good-ks.co.jp